【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年9月17日(2024.9.17)

【国際公開番号】WO2023/176538
【出願番号】特願2024-507754(P2024-507754)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/30(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/30　５１３
Ｈ０１Ｇ　4/30　２０１Ｃ
Ｈ０１Ｇ　4/30　２０１Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月1日(2024.7.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の誘電体層と、複数の第１の内部電極と、複数の第２の内部電極とが積層されたコンデンサ本体と、
前記コンデンサ本体の内部に設けられ、複数の前記第１の内部電極と電気的に接続されている第１のビア導体と、
前記コンデンサ本体の内部に設けられ、複数の前記第２の内部電極と電気的に接続されている第２のビア導体と、
前記コンデンサ本体の表面に設けられ、前記第１のビア導体と電気的に接続されている第１の外部電極と、
前記コンデンサ本体の表面に設けられ、前記第２のビア導体と電気的に接続されている第２の外部電極と、
を備え、
前記コンデンサ本体を前記誘電体層、前記第１の内部電極および前記第２の内部電極の積層方向に見たときに、ｍ×ｎ（ｍ、ｎはそれぞれ4以上の自然数）個の仮想格子点を設定し、前記第１のビア導体および前記第２のビア導体を含むビア導体が全ての前記仮想格子点に配置された基準配置に対して、最外周に位置する前記仮想格子点よりも内側に位置する１以上（ｍ－２）×（ｎ－２）以下の数の前記仮想格子点に前記第１のビア導体および前記第２のビア導体が配置されていない（但し、前記第１のビア導体および前記第２のビア導体が、前記基準配置の前記最外周に位置する前記仮想格子点よりも内側に位置する全ての前記仮想格子点に配置されていないものは除く。）ことを特徴とする積層セラミックコンデンサ。
【請求項２】
前記第１のビア導体の数と、前記第２のビア導体の数との差は、１つ以下であることを特徴とする請求項１に記載の積層セラミックコンデンサ。
【請求項３】
前記第１のビア導体および前記第２のビア導体が配置されていない前記仮想格子点は、前記基準配置の前記最外周に位置する前記仮想格子点よりも内側に位置する前記仮想格子点のうち、前記基準配置において前記第１の外部電極と前記第２の外部電極との間に電圧が印加されたときに流れる電流が小さい前記ビア導体に対応する前記仮想格子点であるこ

とを特徴とする請求項１に記載の積層セラミックコンデンサ。
【請求項４】
前記第１のビア導体および前記第２のビア導体が配置されている複数の前記仮想格子点は、対称性のある配置であることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の積層セラミックコンデンサ。
【請求項５】
前記第１の外部電極および前記第２の外部電極は、前記コンデンサ本体の表面のうち、前記積層方向に相対する第１の主面および第２の主面のうちの一方の主面にのみ設けられていることを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の積層セラミックコンデンサ。